

## 「データ／インフォメーションシェアの動向と方向性」

同志社大学 社会学研究科 教授  
本研究所研究員 山田 礼子

最初に、本ワークショップの趣旨を簡単に述べ、IRに関連する政策と日本でのIR調査結果を紹介する。

### 1. ワークショップの趣旨

本ワークショップの趣旨は以下の通りである。

- これまで国は、教育や大学ガバナンスの関連で様々な答申の中でもIRの推進について言及
- 教育の質保証、学修成果の可視化、教育情報の公表ともIRは深く連関
- 第三期の認証評価においても、上記の方針は堅持され、学修成果重視の方向へ
- 2019年度より国主導で、学生主体の教育と教育情報の具体的な公表の一環として、「全国学生調査」が施行→2020年度より本格的に始動
- こうした状況において、学生調査をどう扱うか、またIR組織としてどう情報を共有するかは課題でもある→先導事例をベースにIRを巡るデータ等のシェアの在り方やIR組織としての協働事例について考える

### 2. 日本の高等教育政策とIRの関連

2014年に学校教育法と国立大学法人法の改正がなされ、2015年からは学長のリーダーシップによるガバナンス改革を進捗させるために、教授会の役割が従来とは違う形で機能することになった。また、全ての大学にとって、学生人口が減少し大学進学率がそれほど上がらないなか、いかに学生を確保するかというテーマは健全な大学経営をしていくには最も大事な原点であるといえよう。それでは執行部はどのような方向性を定めて何をしなければいけないのだろうか。大学執行部は、戦略計画、中期計画をたて、大学の財務、学生情報、卒業生の動向、地域との連携、施設の充実と効率的なスペースの活用、産業界との連携、国際化、研究活動の充実、入学志願者情報にもとづくマーケティング戦略、広報の充実、学生の満足度のアップ、あるいは卒業生の産業界からの評価など様々な方策をIR部門と連携して打ち出し、そうした方策の評価と強化あるいは場合によっては効果のない方策の見直しなども行わなければならない。同時に、IR活動を大学内で推進していくためには、IR活動を通じての情報や成果を学内の多くの教職員にフィードバックしていくことが求められる。執行部が大学経営を着実に実施していくためには、IRを理解し、活用していくことが重要となる。IR部門はそうしたデータの収集、集積、そして分析を行い、エビデンスに基づきながら、執行部の大学経営のための意思決定に役立つ情報を提示しなければならない。その一方で、IRに対する学内での理解が進まない、データの供給や活用が円滑に進まない可能性がある。

IR 部門の設置が政策的にも組み入れられつつある現在、多くの大学において IR 部門や IR 担当者が配置されるようになってきている。しかし、IR 担当者は執行部に対して、どのようにデータを分析し、情報をまとめて資料を作成し提示すればよいのか。IR 担当者に必要とされるスキルはいかなるものか。また執行部から IR 部門に対しては、どのような資料の作成を要求し、それらをどのように活用すれば効果があるのか。また IR 活動の円滑な進展のために、IR の成果を、執行部のみならず学内全体にいかによりフィードバックすれば良いのだろうか。いくつかの調査の概要と IR についての連携動向を紹介する。

### 3. IR に関する調査概要と連携動向

平成 24-25 年度文部科学省先導的の大学改革推進委託事業「大学における IR (インスティテューショナル・リサーチ) の現状と在り方に関する調査研究」の一環として、実施した「大学のインスティテューショナル・リサーチ (IR) に関する調査研究」(2013 年 12 月質問紙調査)と調査対象 109 法人を対象とした日本私立大学連盟 2017 年調査 (回答数 92 法人 回答率 84.4%) では、2013 年度調査では、IR 組織に関連して全学レベルの組織はないと回答している比率が 69%であったのに対し、2017 年調査では 56.8%が IR を実施している全学レベルの組織があり IR という語を含んでいると回答するなど IR 組織は着実に大学内で常置されるようになってきている。

IR 組織が収集している情報については、入学前成績、プレースメントテストの結果、学籍情報、学生生活調査、成績情報、学生の就職情報、卒業生の調査など多岐にわたっていることが知見として得られている。

### 4. IR の連携活動事例

大学 IR コンソーシアムでは共通学生調査を実施しており、IR ネットワークシステムの拡充、IR ネットワークを活用した相互評価とベンチマーク、IR 人材育成のためのワークショップ事業を大学同士で連携しておこなっている。詳細については大学 IR コンソーシアムのホームページを参照。<http://www.irnw.jp/>